

※この「施工説明書」に記載されていない方法で施工されて、故障・事故が生じた場合は、当社としては責任を負いかねますので、ご了承ください。

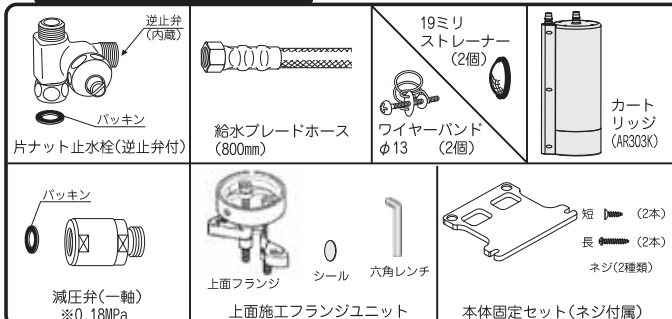
※本施工説明書や、同梱の「取扱説明書」、「付属品」は、必ずお客様にお渡しください。



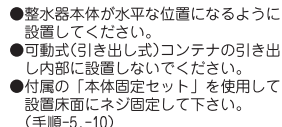
- 設置は、この施工説明書に沿って確実に行ってください。
- 設置に不備がある時、火災・感電・事故の原因になります。
- 飲料水に合格した水(水道水など)以外は使用しない。
- 温泉水、井戸水などの異物を含む水にはご使用になれません。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、むじわたり、束ねたりしない。また重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
- 一次給水側(電源スイッチ手前)は、特に水漏れがないように確実に施工する。水漏れが起こると、大きな補償問題になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。(感電の原因になります)
- 本器は、整水器本体、カートリッジ、カラ(電子水栓)及び同梱部品(施工用)をセットで使用する。
- 設置場所は、下記条件を考慮し、お客様とご相談の上、設置してください。
 - ・各部材は、既設の屋内配管などに、ぶつからない場所に設置してください。
 - ・整水器本体、カートリッジ、カラ(電子水栓)が付属品で設置できる場所に設置してください(付属ホースの長さを考慮してください)。
 - ・コンセントの抜き差し、止水栓の開閉(調整)が可能な位置に設置してください。
 - ・カートリッジ交換、カルシウム添加が容易に行える場所に設置してください。
 - ・各ホースは折れ曲がったり、山形配管にならないようにしてください。
- 使用可能給水圧力は、0.1~0.5MPa(1.0~5.0kg/cm²)です。
但し、付属の減圧弁で、0.2~0.25MPa(2.0~2.5kg/cm²)に減圧が必要です。
- 整水器本体や、カラの設置場所は、お客様とご相談の上設置してください。
- カラ(電子水栓)の取り付け可能な天板の厚さは、8~30mmです。
- 工事の際、流し台の構造や材質などの確認が必要になった場合は、キッチンメーカーへお問い合わせください。
- 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行ってください。
- ウォーターハンマーが発生する場合は、市販の防止器等を設置してください。



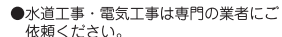
※取扱説明書、施工説明書(本誌)、保証書・封筒



- シンク下(流し台下)のフロアユニットに、設置してください。
このとき、カラン(電子水栓)の取付位置を考慮してから設置してください。
- 給水ブレードホースの長さ約800mm、カランの電解水素水ホース、サンホースは約1,000mmです。長さに注意して位置を決めてください。

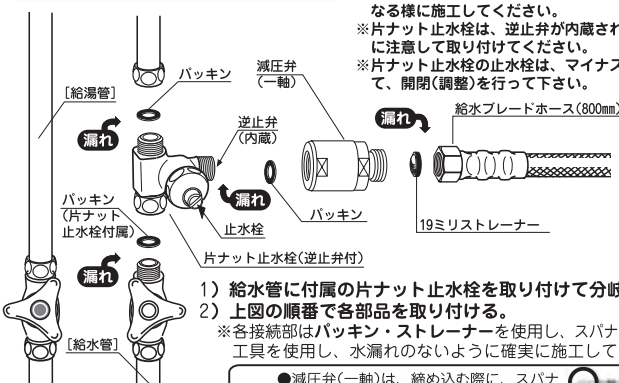


シンク下（流し台下）にコンセントがない場合は、電源線に電源コンセント（交流100V）を取り付けて、専用の電源コンセントを新設してください。
（製品の電源コードの長さは、約1,800mmです）
※電気工事は専門の業者が行ってください。

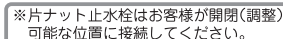
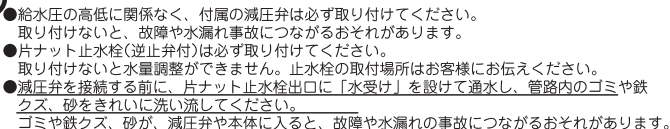
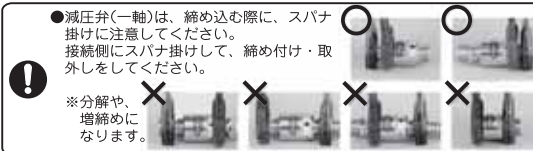


定格：AC(交流)100V・2.4A・50/60Hz
消費電力：最大240W

- ※給水管(図中右側の配管)に接続してください。
- ※片ナット止水栓・減圧弁などの向きと姿勢を、下図のようになる様に施工してください。
- ※片ナット止水栓は、逆止弁が内蔵されています。取付け向きに注意して取り付けてください。
- ※片ナット止水栓の止水栓は、マイナスドライバー等を使用して、開閉(調整)を行ってください。

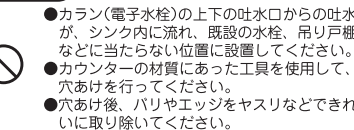


給水管が給湯管の左側（図と逆の配置）の場合、片ナット止水栓を取り付ける際には、別売品の止水栓が必要になります。



1) カラン(電子水栓)の設置位置を決めたら
超硬ホールソー等でカウンターに取付穴
をあける。

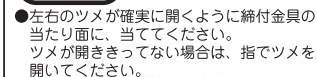
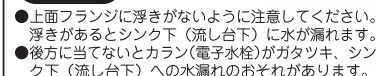
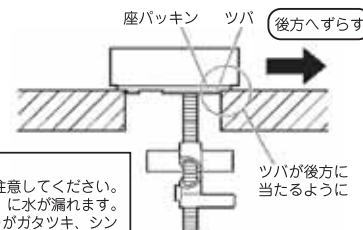
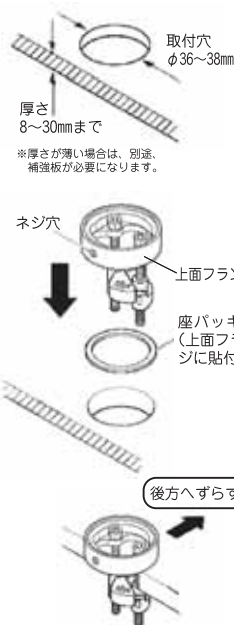
※取付穴径はφ36~38mmで、適応天板の厚さは、8~30mmです。
※穴あけ作業後はくずをきれいに取り除き捨ててください。



2) 上面フランジのツメを閉じた状態にして、ネジ穴が正面を向くようにして、取付穴に入れる。

※座パッキン(白)は、上面フランジに貼付いていないと
シンク(流し台)下への水漏れの原因になりますので、
確認してください。

3) カウンターの取付穴の中心になるように、位置決めする。



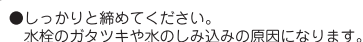
※ツメを確実に開く



4) 上面フランジを手で押さえながら、六角レンチで六角ボルトを左右均等に、交互に締め付けてください。

5)六角レンチを横にして、六角ボルトを力一杯(1回転)増し締めして、上面フランジを確実に固定してください。

※電動ドライバーでは、2.0~4.0N・m(20~40kgf/cm)で、締め付けてください。
高速回転はやめてください。



手順-4 カラン(電子水栓)の取付 (つづき)

6) カラン(電子水栓)を上面フランジに取り付ける。

- ① カランコード1本と電解水素水・サンホース(各1本)を、上面フランジに通す。
※コードを先端のコネクタに気をつけながら通してから、電解水素水ホースとサンホースを通します。
- ② カランのネジ穴と上面フランジのネジ穴が合うように、はめ込みます。

⚠ 注意

- カラン底面にパッキン(黒)が、付いていることを確認してください。
- コード先端のコネクタは、無理に力を加えると破損するおそれがあります。
- 上面フランジにカランを取り付ける際、コードやホースの挟み込み・折れ・ねじれに注意してください。

7) カラン(電子水栓)と上面フランジを止めネジで確実に固定する。

- ① カランを押さえながら、六角レンチで止めネジを締め付けます。
- ② 付属の丸シール(銀色)を貼り、ネジ穴を隠します。

⚠ 注意

- カランがガタつかないようにしっかり上面フランジに押しつけながら、止めネジを固定してください。
- カランにガタツキがあると、シンク下(流し台下)に水がしみこみます。

⚠ 注意

- カラン(電子水栓)の上下の吐水口からの吐水が、シンク内に流れる位置に設置してください。シンク後板や、シンクポケット(石けん、洗剤入れ)、既設の水栓、吊り戸棚などに当たらない場所に設置してください。
- ホースやコードを、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。水漏れや断線の原因になることがあります。
- 天板やシンク(流し台)に穴をあけるときは、屋内配管に傷を付けない。万一、水漏れが起きると、大きな補償問題になることがあります。
- 凍結のおそれのある場所には設置しない。
- 整水器本体、カートリッジ等が凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。
- 壁面取付タイプの水栓箇所には、取り付け出来ません。
- 配管が不明確なので、取付できなかったときに補償問題になることがあります。
- カラン(電子水栓)の先(トップ、アンダータップ)に、他の機器を接続しない。水漏れや機器の故障の原因になります。

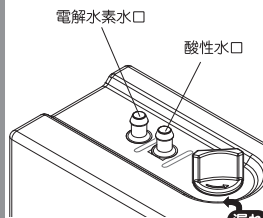
手順-5 本体の固定(本体固定セット)

- 整水器本体の底面に、付属の本体固定板をネジ締めをする。

⚠ 注意

- 本体固定板を取り付ける際は、本体を逆さにする必要がありますので、取扱いに注意してください。
- ネジは2種類(短、長)同梱しています。短い皿ネジを使用してください。
- ネジ締めが緩いと、固定板よりネジの頭が出る為、設置箇所の床面を傷つけるおそれがあります。

手順-6 電解水素水・サンホースの接続



1) カラン(電子水栓)に取り付けてある電解水素水ホースとサンホースを、整水器本体に取り付ける。

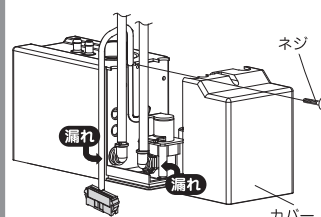
- ① 電解水素水、酸性水口に取り付けてある栓を取り外してから行ってください。
- ② 各ホースの長さを、たるまない、折れない程度の長さに調整(切る)する。
- ③ 各ホースには、「電解水素水」・「酸性水」のシールが貼ってあります。
- ④ 各ホースに付属のワイヤーバンドφ13を通し、各口に差し込む。

2) 各ホースのワイヤーバンドのネジを締めて、ホースを固定する。

⚠ 注意

- ワイヤーバンドφ13は電解水素水口(酸性水口)の山部より下の位置(差し込んだホースが一段太くなった位置下)で締めてください。
- 差し込んだホースは、回転させたり、抜いたりしないでください。水漏れの原因になります。

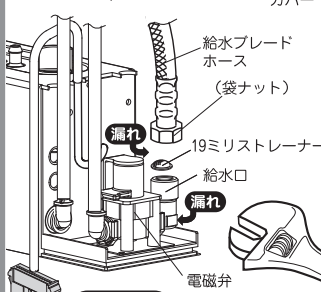
手順-7 給水ブレードホースの接続



- ① 整水器本体のネジを外して、カバーを取り外す。
- ② 電磁弁の給水口に給水ブレードホースを接続する。

※給水口を取り外して給水ブレードホースと接続すると、接続が容易に行えます。
※給水ブレードホースのねじれに注意して締め込んでください。

⚠ 給水口の破損につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- 19ミリストレーナーを忘れずに入れてください。水漏れの原因になります。
- スパナ等で締め込む際は、給水口や袋ナットの面取り部分を、スパナ等で確実におさえて、締め込んでください。おさえが悪いと面取り部分や、給水口を破損するおそれがあります。

手順-11 初期動作の確認

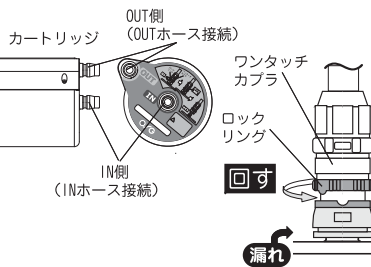
- ① 止水栓を開き、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② カラン(電子水栓)の液晶が点灯し、起動音(ドレミ)が鳴るのを確認します。
- ③ 表示(液晶: 緑色)、動作に問題なければ、カランの「出/止」ボタンを押して通水、「出/止」ボタンを押して止水、数回繰り返します。
通水時に各部(給水口、給水口)の水漏れがないことを、再度確認してください。
※手順-3(4箇所)・手順-6(3箇所)・手順-7(6箇所)・手順-8(2箇所)
- ④ 手順-7で取り外したカバーを外したネジを使用してカバーを取り付ける。

手順-8 カートリッジの接続

1) カートリッジを整水器本体のカートリッジベースに入れる。

※カートリッジは、右図の様に、カートリッジのIN側・OUT側の向きを合わせて、入れてください。

2) カートリッジに、INホース(カブラ青色)・OUTホース(カブラ水色)のカブラを差し込んだ後、ロックリングを回してロックしてください。



3) 止水栓を開き、水漏れがないか、確認します。

※しばらく確認して止水栓は閉める。

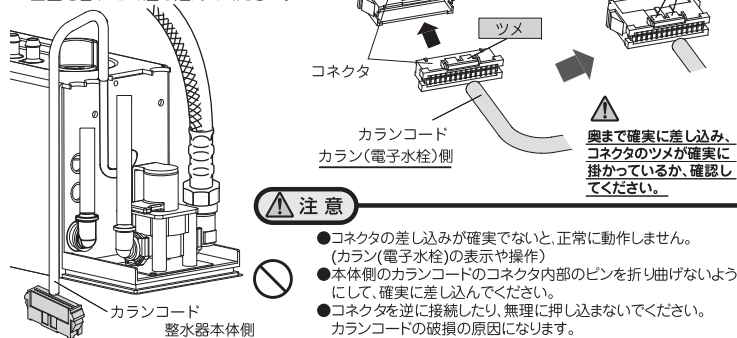
⚠ 注意

- INホース、OUTホースの取付けを間違えないでください。(カブラにIN(青色)/OUT(水色)の記載)
- 通水時には、水漏れがないか確認してください。

手順-9 カランコード(コネクタ)の接続

・整水器本体から出たカランコードと、カラン(電子水栓)コードを接続する。

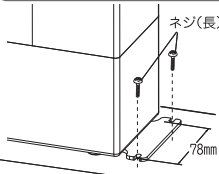
※各コードのコネクタとコネクタのツメ部の位置を合わせて差し込んでください。



⚠ 注意

- コネクタの差し込みが確実でない、正常に動作しません。(カラン(電子水栓)の表示や操作)
- 本体側のカランコードのコネクタ内部のピンを折り曲げないようにして、確実に差し込んでください。
- コネクタを逆に接続したり、無理に押し込まないでください。カランコードの破損の原因になります。

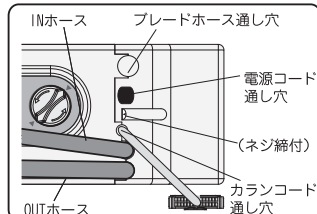
手順-10 本体の固定(本体固定セット)



- 整水器本体を、設置箇所の床面にネジ締めをする。

⚠ 注意

- 本体と壁面との間に隙間(5mm以上)を設けてください。
- 既設の屋内配管等をキズつけないようにしてください。



5) 取扱説明書の「初期動作の確認」に従って、最終確認を実施します。

⚠ 注意

- カバーの内側下の左右の凸部を手順-9の右図のガイド(溝)に沿って取り付ける。
- カバーを取り付ける際は、各種ホースやカランコード、電源コードを折り曲げたり、挟まないようにしてください。(左図の通し穴を参考に取り付ける)